



## 「不撓不屈」の言葉を心の支えにして伝統を受け継ぐ

今日は1年の締めくくりである修了式です。先日は、立派な態度で卒業生を送ることができました。4月からそれぞれ進級し、本校のリーダーとなり、先輩が築いてきた良き伝統を受け継いでいかなければなりません。

さて、本校には良き伝統として代々受け継がれている言葉「不撓不屈」があります。「不撓不屈」の「不撓」は「いやになって投げ出さない」、「不屈」は「くじけない」という意味で、「いかなる困難にもくじけたり負けたりしないこと」という意味を表しています。中学時代の皆さんの心の支えにしてほしいすばらしい言葉です。

皆さんが迎える新しい学年では、全てが順調に進むわけではありません。今よりも多くの期待や重い責任、よい結果が求められるでしょう。そんな時、「不撓不屈」の精神を持ってどんな困難なこともやり抜いて行ってほしいと思います。

夢や目標の大きさに苦しさは比例すると言われています。夢や目標が大きければ大きいほど、苦しさも大きくなります。しかし、苦しさを乗り越えようと歩み続けることで、自分自身が成長し、やがて夢や目標がかなうのです。

明日から春休みとなりますが、健康と安全に注意して過ごし、新しいスタートの準備をしておいてください。



## 1年間多大なるご支援・ご協力に感謝いたします

1年間、学校だより「岩瀬ヶ丘」をご覧になっていただきありがとうございます。おかげさまで、最終号を無事発行することができました。来年度も、子どもたちの活躍と、保護者様へのご連絡、そして、学校がどのように動いているかを情報発信してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

さて、2年生はいよいよ3年生という最高学年になります。きっと、さらに仲間を大切にしていって団結力を強め、下級生の模範となってリードしてくれるだろうと期待しております。また、1年生も温かい雰囲気のある学年だったので、さらにまとまりの良い2年生になっていくだろうと思っております。4月6日(月)の入学式・始業式で、意欲満々の生徒の皆さんに会えることを楽しみにしております。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動をいつも暖かく見守ってくださいますありがとうございます。来年度も教職員一丸となって、より良い須賀川第二中学校にするべく努力をしていきますので、ご理解ご協力をよろしく願いたします。

## 3.11を迎えて ～震災の教訓を伝えていく～

東日本大震災の経験と教訓を次世代にしっかりと継承するとともに、本校生徒が自らの生き方を考える契機とするために、3月11日(水)に防災教育を実施しました。

朝の放送集会では、本校の善方昭博教諭が「ふくしまの未来へ2015」と題した内堀雅雄知事のメッセージを紹介し、3年生の高宮莉蘭さんが東日本大震災に関連した生徒作文を朗読しました。

午後2時46分には全校生徒教職員で1分間の黙とうを捧げました。

20年後、30年後の「未来の教科書」があるとすれば、おそらく次のように記されているのではないのでしょうか。

「2011年3月に東日本大震災と原発事故が発生し、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらした。一番被害が大きかった福島県は復興に40年はかかるとみられていたが、県民が被災に屈することなく、一人一人の力を結集して歩みを加速させ、約10年で見事に復興を成し遂げた。その主な原動力となったのは若者たちであった。」と。

# 感謝と感動あふれる卒業式！



卒業証書授与



卒業生による Departure～旅立つ君へ～ 感動の合唱

3月13日に「第67回卒業証書授与式」が行われ、3年生210名がこの学び舎を巣立っていきました。40名を超える来賓の皆様、多くの保護者そして教職員に見守られながら、大きく成長した子どもたちが胸を張って卒業証書を受け取る姿は、須賀川二中の生徒だったという誇りと自信に満ち溢れていました。

卒業式後半の、在校生代表大木翔太君の送辞、卒業生代表の笛木アレン君の答辞、在校生・卒業生の合唱と感動がいっぱいあふれる素晴らしい卒業式になりました。特に卒業生が涙をこらえながら、心をつにして歌った卒業の歌「Departure～旅立つ君へ～」は、会場にいるみんなに熱い感動を与えてくれました。最後に全員で歌った校歌は圧巻で、会場に大きな歌声が響き渡りました。「感謝と感動」の気持ちいっぱいの心うたれる最高の卒業式でした。

## 1・2年生も頑張りました！

卒業式を支えてくれたのが1・2年生です。前日は2年生が中心となり式場作成を行いました。クラスごと、又は個別に様々な仕事分担され、担当教師の指導の下にしっかりと取り組んでいました。

卒業式においても、別れの歌「明日の空へ」は、「これからの須二中の主演は自分たちだ」との思いが込められ力強いものでした。これからは、2年生を中心に新たな伝統を築いていってくれることでしょう。



3学年担当の先生方です。お疲れ様でした。